

近畿厚生局長 殿

京都大学医学部附属病院
病院長 中村 孝志

印

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	117人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数



職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	590人	92.2人	682.2人	看護補助者	64人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	21人	0人	21.0人	理学療法士	26人	臨床検査技師	81人
薬剤師	70人	0.5人	70.5人	作業療法士	10人	臨床衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	検査その他	0人
助産師	30人	0人	30.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	917人	27.8人	944.8人	臨床工学技士	16人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	0人	その他の技術員	133人
歯科衛生士	2人	2.3人	4.3人	歯科技工士	3人	事務職員	322人
管理栄養士	12人	0人	12.0人	診療放射線技師	59人	その他の職員	94人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	986.2人	16.0人	1,002.2人
1日当たり平均外来患者数	2,538.2人	96.8人	2,635.0人
1日当たり平均調剤数	1,779.13剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用い、白血病等に対する免疫療法を行った。			
医療技術名	二重反転回復法MRI撮像(DIR)による微小てんかん病巣の検出	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 脳MRI画像検査で主要な構造である脳白質、脳髄液の信号を二重反転回復法により抑制して難治性てんかん症例などで描出が困難な微小病巣を検出しようとするものである。			
医療技術名	開頭術における覚醒下手術	取扱患者数	16人
当該医療技術の概要 開頭術において脳機能温存のために術中覚醒として神経機能をモニターする手術			
医療技術名	高次元脳神経ナビゲーションシステム	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 ナビゲーションシステムに神経線維、神経機能画像、PET画像を融合し、手術顕微鏡と連動			
医療技術名	神経内視鏡下脳腫瘍摘出	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 神経内視鏡下に脳腫瘍を摘出			
医療技術名	脳機能画像化検査	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 高次元での神経線維画像化と脳機能画像化MRI撮影			
医療技術名	巨大血栓化脳動脈瘤に対する脳血流改変術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 治療困難な巨大血栓化脳動脈瘤に対する新規治療法			
医療技術名	スペクトラルドメイン光干渉断層計による早期緑内障の診断	取扱患者数	約50人
当該医療技術の概要 眼底描出力が向上したスペックルノイズ除去光干渉断層計を用いて、視野異常を認めない早期緑内障の神経線維層欠損の検出を行い、緑内障診断力の向上を図る。			
医療技術名	補償光学適用走査レーザー検眼鏡による網膜神経線維束及び視細胞の可視化	取扱患者数	約50人
当該医療技術の概要 新しい技術である補償光学適用走査レーザー検眼鏡を用いて、今まで観察することができなかった眼底の網膜神経線維束や網膜視細胞の可視化を行い、眼科疾患の病態解析を行う。			
医療技術名	加齢黄斑変性に対するテーラーメイド医療	取扱患者数	約100人
当該医療技術の概要 広義加齢黄斑変性にみられる遺伝子多型を解析することで、広義加齢黄斑変性各病型の発症機序や治療に対する反応性の違いを解明し、その遺伝子多型に応じたテーラーメイド医療を実現する。			
医療技術名	UGT1A1遺伝子の多型解析	取扱患者数	84人
当該医療技術の概要 CPT-11による副作用発現を予測するた、め患者の血液からDNAを精製し、遺伝子計を判定する。			
医療技術名	保険算定外の薬物血中濃度測定	取扱患者数	62人
当該医療技術の概要 シロリムス、ミコフェノール酸、イトラコナゾールなど、治療上必要であるが保険算定外の薬物について測定および解析を行う			
医療技術名	肝芽腫に対する肝臓移植後化学療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 肝芽腫に対し、肝臓移植を行った後、再発予防に化学療法を行った。			

医療技術名	産科大量出血に対する経動脈塞栓による止血処置	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
産後出血に対して経膈止血処置が一般的とされるが、狭い操作スペースおよび出血による不良視野により止血操作は容易でなく、出血点がわからないままに急性失血によりかえって生命危機にさらされることも多い。当科ではX線透視下に骨盤内血管造影を行い、出血責任血管を塞栓することでより安全かつ的確に止血を行うことを試みている。			
医療技術名	膀胱穿通前置胎盤に対する子宮・膀胱温存治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
通常、前置胎盤合併妊娠では帝王切開で児を娩出後に直ちに胎盤も娩出するが、子宮前壁の胎盤が膀胱まで穿通した症例では、胎盤を取り除くことは子宮のみならず膀胱をも摘出することになる。当科では、帝王切開時に児のみ娩出させ、胎盤を子宮内に残し、その後上記1にて子宮の血流を減少させ待機することで、危機的出血もないまま子宮・膀胱を失うことなく経過している。			
医療技術名	若年早期子宮頸癌に対する子宮温存手術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
浸潤子宮頸癌に対する標準治療は子宮全摘術であり、同手術を受けた場合には妊孕性温存は望めない。当科では21年度より若年早期子宮頸癌患者に対して切除マージンを確保しながら子宮体部を温存しつつ子宮頸部と膈壁を切除する同手術を行っている。			
医療技術名	着床不全(4回以上体外受精不成功例)患者に対し、胚移植前日の夫リンパ球子宮内投与	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
妊娠成立には受精・着床に関わる複雑なプロセスをすべてクリアする必要があり、夫精子という他者からもたらされるものからなる胚の着床には免疫が関わるのが基礎研究からも判明している。当科では以前より、その成果をもとに文書にて了解の得られた上記患者を対象として免疫寛容を目的として上記処置を行い良好な成績を収めている。			
医療技術名	胎便性腹膜炎を伴う胎児に対する子宮内治療	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
胎便性腹膜炎を疑う胎児腹水に対し、経子宮的にウリナスタチンを胎児腹腔内投与を行ったところ、胎児腹水は減少し健児を得た。病態に即した胎内治療が奏功した1例であり、今後も積極的に病態にあわせた胎内治療を行う予定である。			
医療技術名	家族性パーキンソン病に対する遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
家族性パーキンソン病に対し遺伝子診断を行った。			
医療技術名	家族性てんかんに対する遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
家族性てんかんに対し遺伝子診断を行った。			
医療技術名	難治性消化管狭窄に対する放射状切開剥離法	取扱患者数	55人
当該医療技術の概要			
内視鏡的バルーン拡張術では効果が得られない難治性の消化管狭窄に対して内視鏡下に切開ナイフで放射線状に切開を入れ、癒痕部をそぎ落とす方法。			
医療技術名	咽頭表皮癌に対する経口的内視鏡切除法	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
これまで発見が困難であった咽喉頭の表皮癌が最新の内視鏡技術の進歩により発見できるようになり、それらの表皮癌に対する低侵襲治療として、全身麻酔下で経口的に粘膜を切開剥離し病変を切除する方法。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	75人	・膿疱性乾癬	5人
・多発性硬化症	50人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・重症筋無力症	63人	・原発性胆汁性肝硬変	63人
・全身性エリテマトーデス	384人	・重症急性膵炎	3人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	34人
・再生不良性貧血	31人	・混合性結合組織病	38人
・サルコイドーシス	94人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	18人	・特発性間質性肺炎	59人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	243人	・網膜色素変性症	132人
・特発性血小板減少性紫斑病	28人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	52人	・肺動脈性肺高血圧症	9人
・潰瘍性大腸炎	140人	・神経線維腫症	17人
・大動脈炎症候群	71人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	14人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	109人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	21人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	44人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	121人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	2人
・後縦靭帯骨化症	34人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	102人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	77人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	10人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒトDCによる寛容誘導機構の解明、粘膜帰巢および寛容誘導特性を備えたヒトDC培養技術の確立	門脇 則光	血液・腫瘍内科	4,500,000	補(独)科学技術振興機構 委
ヒト樹状細胞の機能制御と新規免疫制御法の開発ー抗酸化ストレス分子チオレドキシニンによる機能修飾ー	門脇 則光	血液・腫瘍内科	1,540,000	補(独)科学技術振興機構 委
新規免疫細胞治療法の開発	門脇 則光	血液・腫瘍内科	4,600,000	補 SBIバイオテック(株) 委
Vif/APOBEC3Gの相互作用を標的とした新規抗HIV-1薬の開発	高折 晃史	血液・腫瘍内科	4,250,000	補 エイズ対策研究事業 委
薬剤耐性HIVの発生機序とその制御方法に関する研究	高折 晃史	血液・腫瘍内科	2,250,000	補 エイズ対策研究事業 委
特発性造血障害に関する調査研究	石川 隆之	血液・腫瘍内科	2,000,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
骨髄異形成症候群に対する病態解明・治療法の開発に関する研究	石川 隆之	血液・腫瘍内科	2,650,000	補 難治性疾患克服研究事業 委
ATLに対する有効な造血幹細胞移植/細胞・免疫療法の開発	門脇 則光	血液・腫瘍内科	11,200,000	補 特定領域研究 委
新しい造血幹細胞移植技術の開発に関する研究	一戸 辰夫	血液・腫瘍内科	1,000,000	補 厚生労働省 免疫アレルギー疾患等 予防・治療研究事業 委
同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有等に関する研究	一戸 辰夫	血液・腫瘍内科	500,000	補 厚生労働省 免疫アレルギー疾患等 予防・治療研究事業 委
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	中尾 一和	内分泌・代謝内科	25,000,000	補 文部科学省 委
生理活性ペプチドを用いたメタボリックシンドローム合併症に対する新規組織保護再生治療法の開発	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補 国立循環器病センター 委
循環器系シグナローム解析による疾患・病態解明のための基盤研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	2,000,000	補 国立循環器病センター 委
心臓血管ホルモンのトランスレーショナルリサーチ(SRP)	中尾 一和	内分泌・代謝内科	27,000,000	補 第一三共(株) (第一製薬(株)) 委
肥満症およびメタボリックシンドロームとその合併症に対する医療機器・用具の開発(SRP)	中尾 一和	内分泌・代謝内科	18,182,000	補 ジェイ・エム・エス 委
メタボリック症候群を標的としたトランスレーショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	27,273,000	補 塩野義製薬株式会社 委
腎疾患マーカー(NGALなど)に関する検討	森 潔	内分泌・代謝内科	1,000,000	補 アボットジャパン(株) 委
保健指導への活用を前提としたメタボリックシンドロームの診断・管理のエビデンス創出のための横断・縦断研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	2,400,000	補 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者医療とQOL改善に対するグレリンの臨床応用とその基盤的研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委 長寿科学総合研究事業
中枢性摂食異常症に関する調査研究	中尾 一和	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委 難治性疾患克服研究事業
脂肪細胞由来ホルモン、レプチンのトランスレーショナルリサーチの推進	中尾 一和	内分泌・代謝内科	52,668,000	補委 医療技術実用化総合研究事業
H2O繰越・脂肪細胞由来ホルモン、レプチンのトランスレーショナルリサーチの推進	中尾 一和	内分泌・代謝内科	10,000,000	補委 医療技術実用化総合研究事業
低身長症におけるCNP有効症例の把握と診断法の確立	中尾 一和	内分泌・代謝内科	20,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
新規遺伝子変異ラット作成技術に基づく生活習慣病・難治性疾患疾患モデルラットの開発	中尾 一和	内分泌・代謝内科	10,000,000	補委 創薬基盤推進研究事業
病的心筋リモデリングにおける新規治療標的としてのTRPCチャンネルの意義の解明	木下 秀之	内分泌・代謝内科	1,100,000	補委 若手研究(B)
脂肪毒性および耐糖能異常の新規治療標的としてのG蛋白共役型-脂肪酸受容体の意義	富田 努	内分泌・代謝内科	1,600,000	補委 若手研究(B)
代謝症候群における分子標的としての低分子量G蛋白質関連分子ROCK2の意義	野口 倫生	内分泌・代謝内科	1,600,000	補委 若手研究(B)
脂質関連核内受容体の甲状腺ホルモン代謝調節機序への作用と高脂血症治療薬への展開	金本 巨哲	内分泌・代謝内科	1,400,000	補委 若手研究(B)
末梢動脈疾患におけるナトリウム利尿ペプチド系の意義の検討と治療応用	朴 貴典	内分泌・代謝内科	1,300,000	補委 若手研究(B)
病的心筋リモデリングにおけるrho依存性転写共役因子MRTF-Aの役割の解明	宇佐美 覚	内分泌・代謝内科	1,700,000	補委 若手研究(B)
ヒトES・iPS細胞を用いた血管分化・老化・再生機構の解明と血管再生療法への応用	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	2,100,000	補委 若手研究(B)
移植に適したヒトES・iPS細胞由来内皮作成と腎不全進行に対する新規治療法の開発	本間 康一郎	内分泌・代謝内科	1,700,000	補委 若手研究(B)
慢性腎臓病におけるポドサイト・間質病変のCTGFの意義の解明	横井 秀基	内分泌・代謝内科	2,100,000	補委 若手研究(B)
膵β細胞の補充と保護に基づく糖尿病治療法の開発	藤倉 純二	内分泌・代謝内科	1,700,000	補委 若手研究(B)
グレリン細胞株の樹立とグレリン生合成分泌調節機構の解明	岩倉 浩	内分泌・代謝内科	2,000,000	補委 若手研究(B)
レプチン抵抗性の分子メカニズムの解明	日下部 徹	内分泌・代謝内科	1,700,000	補委 若手研究(B)
後天的グレリン分泌低下マウスを用いたグレリンの生理作用の検討	有安 宏之	内分泌・代謝内科	2,100,000	補委 若手研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ナトリウム利尿ペプチドファミリーのトランスレイショナルリサーチ	中尾 一和	内分泌・代謝内科	15,100,000	補委 基盤研究(A)
NADPHを仲立ちとする酵素ネットワークに焦点を当てた脂肪組織機能異常の機序解明	益崎 裕章	内分泌・代謝内科	4,700,000	補委 基盤研究(B)
心筋胎児型イオンチャンネルの発現制御機構と新規心不全治療標的としての意義の解明	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	2,800,000	補委 基盤研究(B)
非ペプチド性生体内有機化合物による上皮形質誘導保持作用の分子機構の解明	森 潔	内分泌・代謝内科	700,000	補委 基盤研究(C)
腎臓におけるNa利尿ペプチド系のトランスレイショナルリサーチと探索的臨床応用	向山 政志	内分泌・代謝内科	1,400,000	補委 基盤研究(C)
ナトリウム利尿ペプチド系活性化による新規の肥満・脂肪肝炎治療法開発の基盤研究	田村 尚久	内分泌・代謝内科	1,900,000	補委 基盤研究(C)
骨系統疾患の新規治療戦略の探索	八十田 明宏	内分泌・代謝内科	1,500,000	補委 基盤研究(C)
サイクロフィリンD抑制による幹細胞由来心筋分化誘導促進機構の解明とその臨床応用	藤原 正隆	内分泌・代謝内科	3,100,000	補委 挑戦的萌芽研究
ヒトiPS細胞による脂肪萎縮症の脂肪細胞再生-脂肪萎縮症ヌードマウスによる検討	中尾 一和	内分泌・代謝内科	3,100,000	補委 挑戦的萌芽研究
間葉系細胞由来ホルモンの生理作用とその破綻	中尾 一和	内分泌・代謝内科	51,000,000	補委 基盤研究(S)
セルメタボリズムの心血管内分泌代謝学解析とメタボリックシンドローム包括医療応用	曾根 正勝	内分泌・代謝内科	500,000	補委 分担 基盤研究(B)
心筋胎児型イオンチャンネルの発現制御機構と新規心不全治療標的としての意義の解明	桑原 宏一郎	内分泌・代謝内科	700,000	補委 繰越 基盤研究(B)
心臓のインスリン抵抗性に対するロサルタンの効果 -AMPK-AMPKシグナルに対するangiotensin IIの影響-	尾野 亘	循環器内科	4,038,461	補委 萬有製薬(株)
医療機器の不具合評価体制の構築のための支援業務:冠動脈ステントに関する調査の実施	木村 剛	循環器内科	41,397,563	補委 (独) 医薬品医療機器総合機構
冠動脈ステントの有効性と長期安全性評価のための臨床的研究	木村 剛	循環器内科	30,000,000	補委 アボット バスキュラー ジャパン(株)
動脈硬化性疾患の発症予知・進展予防に関する研究	木村 剛	循環器内科	2,000,000	補委 循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
ナルディライジンによる体温恒常性維持機構の解明	平岡 義範	循環器内科	8,500,000	補委 新学術領域研究
がん化における低分子量GTP結合蛋白質Ralの機能	堀内 久徳	循環器内科	6,500,000	補委 特定領域研究
代謝制御における新たな鍵分子NRDCの発見:そのメタボリックシンドロームでの意義	西 英一郎	循環器内科	4,700,000	補委 基盤研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
切除不能進行腫瘍(局所進行又は転移性)に対するGemcitabine療法 / TS-1療法 / Gemcitabine+TS-3併用療法の第Ⅲ相無作為化比較試験	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	580,800	補委 大鵬薬品工業(株)
ヒト腸管由来株化細胞を用いたGPR120作動化合物の評価系開発	仲瀬 裕志	消化器内科・内視鏡部	2,000,000	補委 (独)科学技術振興機構
切除不能大腸癌に対する5-FU/1-LV/oxaliplatin(FOLFFOX)+bevacizumabとTS-2/oxaliplatin(SOX)+bevacizumabとのランダム化比較第Ⅲ相試験	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	242,400	補委 大鵬薬品工業(株)
C型肝炎治療に際しての副作用出現予測のための遺伝子診断系の構築	丸澤 宏之	消化器内科・内視鏡部	1,540,000	補委 (独)科学技術振興機構
新規慢性腸疾患予防・治療薬の開発	仲瀬 裕志	消化器内科・内視鏡部	400,000	補委 (独)科学技術振興機構
QOLの向上をめざしたがん治療法の開発研究	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	3,000,000	補委 第3次対がん総合戦略研究事業
早期消化管がんに対する内視鏡的治療の安全性と有効性の評価に関する研究-粘膜下層浸潤臨床病期I(T1N0M0)食道がんに対するEMR/化学放射線療法併用療法の有効性に関する第Ⅱ相試験:JCOG0508	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	21,000,000	補委 がん臨床研究事業
「重症クローン病患者に対するタクロリムス療法」に向けての臨床試験の実施に関する研究	千葉 勉	消化器内科・内視鏡部	28,621,000	補委 医療技術実用化総合研究事業
新しい内視鏡診断機器の臨床への応用とこれらを用いた診断精度の向上に関する調査研究	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	2,000,000	補委 第3次対がん総合戦略研究事業
食道がん化学放射線療法後局所遠隔再発例に対するタラポルフィンナトリウム(レザフィリン)及び半導体レーザー(PDレーザー)を用いた光線力学療法の実施第Ⅰ/Ⅱ相試験	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	47,500,000	補委 医療技術実用化総合研究事業
内視鏡的分子イメージングの開発とその臨床応用に関する研究	江副 康正	消化器内科・内視鏡部	600,000	補委 若手研究(B)
PerfusionCTによる腫瘍早期診断法の確立と腫瘍機構の解明	多田 真輔	消化器内科・内視鏡部	1,600,000	補委 若手研究(B)
胆汁・胆汁を用いた複数癌抑制遺伝子の新しいメチル化検出法の開発と臨床応用	依田 広	消化器内科・内視鏡部	1,600,000	補委 若手研究(B)
アルコール関連発がんの分子メカニズム解明と予防および早期診断への応用	武藤 学	消化器内科・内視鏡部	900,000	補委 基盤研究(C)
腸内細菌由来抗原の免疫制御機能を利用したクローン病の新規治療法の開発	渡邊 智裕	消化器内科・内視鏡部	1,500,000	補委 基盤研究(C)
ユニキャップ エリア CCPの臨床的有用性の検討	三森 経世	免疫・膠原病内科	273,000	補委 ファディア(株)
新たな診断・治療法開発のための免疫学的手法の開発	三森 経世	免疫・膠原病内科	3,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
抗リウマチ薬投与下のヒト成熟破骨細胞における関節リウマチ特異自己抗原の機能解析	野島 崇樹	免疫・膠原病内科	2,100,000	補委 若手研究(B)
SLEに対するB細胞除去療法後の免疫再構築におけるBAFFの役割	川端 大介	免疫・膠原病内科	1,700,000	補委 若手研究(B)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
疾患特異的な免疫制御法および抗炎症作用を有する新規生物製剤・低分子化合物の開発	臼井 崇	免疫・膠原病内科	1,200,000	補委 基盤研究(C)
関節リウマチの重症度、治療反応性に関わる遺伝子多型の検索	大村 浩一郎	免疫・膠原病内科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
MRIの補助に基づくFDG-PETによる局在関連性てんかん(部分てんかん)の術前焦点検索精度向上	高屋 成利	神経内科	3,300,000	補委 こころの健康科学研究事業
分子イメージングによるヒト神経膠腫の免疫寛容状態の病態生理的説明および診断精度向上	高屋 成利	神経内科	800,000	補委 若手研究(B)
化学療法抵抗性ホルモン受容体陽性乳癌に対するTS-1術後療法に関する研究	戸井 雅和	乳腺外科	9,000,000	補委 大鵬薬品工業(株)
光超音波マンモグラフィにおける乳がん診断基準の整備と高機能化のための光帯域PATプローブの開発	戸井 雅和	乳腺外科	48,000,000	補委 医療技術実用化総合研究事業
ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた乳房再建のための脂肪組織再生	辻 和香子	乳腺外科	1,000,000	補委 若手研究(B)
緑内障の病態解明と新しい薬物療法の開発(SRP)	吉村 長久	眼科	30,000,000	補委 参天製薬(株)研究開発センター
高解像度眼底イメージング装置試作機による生体眼底画像撮影と高解像度眼底画像の医学評価手法、ソフトウェア等の検討	吉村 長久	眼科	9,765,000	補委 (株)ニデック
3D OCT-1000用眼疾患解析/診断支援ソフトウェアの研究	吉村 長久	眼科	6,420,000	補委 (株)トプコン
3D OCT-1000用眼疾患解析/診断支援ソフトウェアの研究(21年度)	吉村 長久	眼科	6,420,000	補委 (株)トプコン
網膜色素変性症に関する疫学的臨床研究	大谷 篤史	眼科	1,600,000	補委 千寿製薬(株)
高深さ分解能OCTの研究評価	吉村 長久	眼科	11,340,000	補委 (株)トプコン
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	吉村 長久	眼科	3,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
温度感受性リポソーム法を用いた黄斑変性の病態解明と新治療法の開発	田村 寛	眼科	1,600,000	補委 若手研究(B)
角膜血管新生における血小板・血管内皮前駆細胞の動態の同時観察およびその機能解析	山城 健児	眼科	1,400,000	補委 若手研究(B)
補償光学適用走査レーザー検眼鏡による網膜色素変性の病態解析	大音 壮太郎	眼科	1,700,000	補委 若手研究(B)
三次元光干渉断層計による糖尿病網膜症早期診断法の開発	坂本 篤	眼科	1,700,000	補委 若手研究(B)
加齢黄斑変性に対するテーラーメイド医療の実現	吉村 長久	眼科	15,900,000	補委 基盤研究(A)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血液細胞-血管内皮相互反応制御及び低酸素イメージングによる眼虚血性疾患の病態解明	宮本 和明	眼科	6,400,000	補委 基盤研究(B)
網膜色素変性における黄斑部錐体細胞の機能評価法の確立と治療応用の検討	中村 元	眼科	1,400,000	補委 基盤研究(C)
スペクトラルドメイン光干渉断層系による緑内障診断プログラムの開発	板谷 正紀	眼科	1,000,000	補委 基盤研究(C)
網膜培養系を用いた血管新生の制御とその生体への応用	西嶋 一晃	眼科	1,200,000	補委 基盤研究(C)
補償光学適応走査型レーザー検眼鏡を用いた糖尿病網膜毛細血管での循環動態の解析	辻川 明孝	眼科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
進行卵巣がんにおける化学療法先行治療の確立に関する研究	小西 郁生	産科婦人科	1,000,000	補委 がん臨床研究事業
新しいマイクロイメージング技術EFICを用いたヒト胚子発生過程の三次元画像解析	山田 重人	産科婦人科	1,200,000	補委 若手研究(B)
Chemogenomicsによる、卵巣明細胞腺癌に対する治療薬の開発	松村 謙臣	産科婦人科	2,400,000	補委 若手研究(B)
タイプ2子宮体癌における癌幹細胞の同定およびターゲット治療の探索	馬場 長	産科婦人科	2,500,000	補委 若手研究(B)
生殖過程における組織再構築機構の解析-体循環細胞による再生機序の解明を目指して-	藤原 浩	産科婦人科	4,600,000	補委 基盤研究(B)
卵巣癌播種性転移における癌細胞"進化"のゲノムワイド解析とその臨床応用	小西 郁生	産科婦人科	5,800,000	補委 基盤研究(B)
母体血小板と絨毛細胞の相互作用:PIH、IUGRの病因解明をめざして	佐藤 幸保	産科婦人科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
ヒト胎盤に発現するニューロトロフィンの役割と胎児発育におけるその意義	巽 啓司	産科婦人科	1,800,000	補委 基盤研究(C)
卵巣癌の腹腔内免疫環境と化学療法の相互作用の解析に基づいた免疫療法の構築	万代 昌紀	産科婦人科	1,500,000	補委 基盤研究(C)
iPS由来の血管内皮前駆細胞を用いて新生血管を標的とする新たな免疫療法の開発	小西 郁生	産科婦人科	1,500,000	補委 挑戦的萌芽研究
遺伝性・炎症性角化症に対するカンナビノイド作動薬による治療の確立	高橋 健造	皮膚科	3,850,000	補委 (独)科学技術振興機構
金属アレルギーの克服へ向けた効果的診断・予防・治療法の開発研究	椛島 健治	皮膚科	2,000,000	補委 免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
遺伝性・炎症性角化症に対するカンナビノイド作動薬による治療の確立	高橋 健造	皮膚科	1,700,000	補委 基盤研究(C)
ゲノム網羅的解析情報を基盤とするオーダーメイドがん医療(前立腺癌の疾患感受性、治療反応性、および治療副作用予測に関する遺伝子多型解析)	小川 修	泌尿器科	4,545,455	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
泌尿器がんの診断用新規腫瘍マーカー開発	小川 修	泌尿器科	500,000	補委 東レ(株)
新規樹立前立腺癌Xenograftを用いた新たな癌進展機構の解明	清水 洋祐	泌尿器科	980,000	補委 若手研究(スタートアップ)
泌尿器科がんの統合的OMICsデータの臨床応用を目指した検証研究	小川 修	泌尿器科	7,400,000	補委 基盤研究(A)
腎細胞癌のマトリックス・リモデリング制御機構に着目した個別化抗血管新生療法の検討	神波 大己	泌尿器科	1,900,000	補委 基盤研究(C)
尿路上皮癌初期発生過程における治療抵抗性獲得機序の解明	渡部 淳	泌尿器科	1,900,000	補委 基盤研究(C)
核マトリックス蛋白質に基づくホルモン不応性前立腺癌の新規標的分子の探索	井上 貴博	泌尿器科	2,000,000	補委 基盤研究(C)
京都大学iPS細胞研究統合推進拠点	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	19,000,000	補委 文部科学省
ナノテクノロジー、再生医学を融合した人工内耳。人工蝸牛の開発	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	23,600,000	補委 感覚器障害研究事業
前庭機能異常に関する調査研究	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,600,000	補委 難治性疾患克服研究事業
再生医学的アプローチによる難治性中耳炎からの完全治療戦略と臨床応用	金丸 眞一	耳鼻咽喉科	17,540,000	補委 感覚器障害研究事業
内耳薬物投与システムを応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用	中川 隆之	耳鼻咽喉科	17,000,000	補委 感覚器障害研究事業
自己免疫性内耳障害の実態把握のための多施設研究	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委 難治性疾患克服研究事業
活性酸素理論に基づく内耳性難聴の病態モデル作成と新しい予防的治療戦略の構築	吉川 弥生	耳鼻咽喉科	2,000,000	補委 若手研究(B)
複合音マスキングの脳磁場解析による耳鳴ジェネレーターの解明	平海 晴一	耳鼻咽喉科	2,000,000	補委 若手研究(B)
bHLH型転写因子による気管発生の制御に関する研究	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科	1,700,000	補委 若手研究(B)
新規難聴遺伝子Triobpの解析～不動毛の「根」の形成と聴覚～	北尻 真一郎	耳鼻咽喉科	2,000,000	補委 若手研究(B)
内耳感覚上皮幹細胞の解剖学的位置とその生物学的性質の探索	荻野 枝里子	耳鼻咽喉科	930,000	補委 若手研究(スタートアップ)
内耳再生医療の開発ー内耳発生分子機構を応用したトランスレーショナルリサーチー	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	10,800,000	補委 基盤研究(A)
ヒト難聴等価モデル動物におけるラセン神経節細胞前駆細胞の可視化と動態に関する解析	小島 憲	耳鼻咽喉科	900,000	補委 基盤研究(C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
声帯の粘膜再生：組織幹細胞の同定と再生への応用	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,500,000	補委 基盤研究(C)
聴神経の機能再生：聴神経前駆細胞の聴神経内移植の試み	伊藤 壽一	耳鼻咽喉科	1,800,000	補委 挑戦的萌芽研究
蝸牛内リンパ画像による難聴の原因診断	坂本 達則	耳鼻咽喉科	1,900,000	補委 挑戦的萌芽研究
ナノテクノロジーを用いたDDSによる耳鳴の克服	坂本 達則	耳鼻咽喉科	500,000	補委 厚生労働省医療機器開発推進事業継続
局所進行直腸癌に対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法法の臨床第1相試験(試験実施計画書No. TCOG GI-0902)	平岡 眞寛	放射線治療科	0	補委 特定非営利活動法人 東京がん化学療法研究会
化学放射線療法抵抗性の低酸素がん細胞を標的とする抗がん剤の開発-抗がん剤のプロドラッグ化技術と分子イメージングによる薬効評価系を基盤に-	原田 浩	放射線治療科	15,400,000	補委 (独) 医薬基盤研究所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3：PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 眞寛	放射線治療科	45,150,000	補委 日本メジフィジックス(株)
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題3：PET/MRIシステム用分子プローブ製剤技術の開発(共通基盤技術、MRI用プローブ、自動合成装置)	平岡 眞寛	放射線治療科	133,021,350	補委 技術研究組合医療福祉機器研究所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題1。近接画像型部位PET装置(乳癌用プロトタイプ)の開発(a-4)マンモPET装置のトータルシステムの開発課題2。高分解能PET-CT/MRIシステムの開発(b-4)全身用DOI型PET装置のトータルシステム	平岡 眞寛	放射線治療科	46,226,250	補委 (株) 島津製作所
悪性腫瘍等治療支援分子イメージング機器の開発課題2。高分解能PET-CT/MRIシステムの開発のうち(c)MRIの高機能化に関する研究開発(c-1)腫瘍放射線画像を広領域・高速に撮像する技術の開発(c-2)末梢血流・代謝異常部位を高分解能に撮像する装置	平岡 眞寛	放射線治療科	36,211,350	補委 東芝メディカルシステムズ(株)
高精度放射線治療に必要な研修プログラムの開発と実施に関する研究(SRP)	平岡 眞寛	放射線治療科	9,090,000	補委 (株) バリアンメディカルシステムズ
新型画像誘導放射線治療装置を用いた四次元放射線治療の臨床実用化研究	平岡 眞寛	放射線治療科	9,090,000	補委 三菱重工業株式会社
腫瘍低酸素を標的とした生物学のおよび物理工学的新規放射線治療戦略	平岡 眞寛	放射線治療科	14,300,000	補委 特定領域研究
生体光イメージングによるがん化プロセスの解明	近藤 科江	放射線治療科	4,900,000	補委 特定領域研究
分子標的薬併用による膵臓癌の放射線治療増感：イメージングを用いた解析	板坂 聡	放射線治療科	900,000	補委 若手研究(B)
中枢存在型肺癌に対する体幹部定位放射線治療に関する基礎的検討	松尾 幸憲	放射線治療科	800,000	補委 若手研究(B)
難治がんの治療成績向上を目指した革新的放射線治療技術の開発	平岡 眞寛	放射線治療科	34,800,000	補委 基盤研究(S)
病的低酸素を可視化するバイオイメージングプローブの構築	近藤 科江	放射線治療科	17,700,000	補委 基盤研究(A)
乳癌に対する乳房温存術後加速乳房部分照射の日本人への適応に関する研究	山内 智香子	放射線治療科	500,000	補委 基盤研究(C)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究	平岡 真寛	放射線治療科	200,000	補委 分担 基盤研究(A)
難治がんの治療成績向上を目指した革新的放射線治療技術の開発	平岡 真寛	放射線治療科	2,173,500	補委 緑越 基盤研究(S)
多施設共同研究の質の向上のための研究体制確立に関する研究	平岡 真寛	放射線治療科	23,000,000	補委 厚生労働省がん研究助成金
イメージング技術が拓く革新的医療機器創出特区一超早期診断から最先端治療まで	平岡 真寛	放射線治療科	416,854,000	補委 先端医療開発特区設備整備費補助金
MR装置の基本性能の向上 1) 基本画質の向上 2) 基本機能の向上	富樫 かおり	放射線診断科	2,700,000	補委 東芝メディカルシステムズ(株)
MR I 分子機能画像による子宮頸癌の治療効果の予測	中井 朝子	放射線診断科	1,400,000	補委 若手研究(B)
超高磁場MR I 装置と3 2チャンネルコイルによる高精細拡散テンソルマップ作成	山本 憲	放射線診断科	2,600,000	補委 若手研究(B)
体表臓器の研究開発	鈴木 茂彦	形成外科	24,880,800	補委 国立大学法人東京大学
細胞増殖因子保持型新規人工真皮の実用化	鈴木 茂彦	形成外科	11,919,000	補委 (独) 科学技術振興機構
吸収性高分子材料を用いた形成外科用再生基材の開発	鈴木 茂彦	形成外科	2,730,000	補委 グンゼ(株)
ケロイドの病態形成に関与する糖鎖機能の解析	山脇 聖子	形成外科	1,700,000	補委 若手研究(B)
ケロイド幹細胞：分離・同定とその発生病理学的意義	鈴木 茂彦	形成外科	3,700,000	補委 基盤研究(B)
自家細胞、液性因子、人工細胞外マトリクスを用いた慢性期脊髄損傷治療の研究	片岡 和哉	形成外科	800,000	補委 基盤研究(C)
培養真皮臨床試験および複合型培養皮膚の臨床試験に向けた基礎的研究	森本 尚樹	形成外科	1,300,000	補委 基盤研究(C)
類ケロイドマトリックス基材を用いた新規ケロイドモデルの開発	内藤 素子	形成外科	1,500,000	補委 挑戦的萌芽研究
タバコ病(慢性閉塞性肺疾患)に対する治療器具の力学解析	佐藤 寿彦	呼吸器外科	1,540,000	補委 (独) 科学技術振興機構
肺癌臨床検体における、予後規定因子となる遺伝子、及び抗癌剤代謝酵素の網羅的発現解析(SRP)	伊達 洋至	呼吸器外科	13,640,000	補委 大鵬薬品工業(株)
びまん性肺疾患に関する調査研究	伊達 洋至	呼吸器外科	800,000	補委 難治性疾患克服研究事業
呼吸不全に関する調査研究	伊達 洋至	呼吸器外科	1,200,000	補委 難治性疾患克服研究事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺移植における新規の拒絶のバイオマーカーの確立	里田 直樹	呼吸器外科	2,200,000	補委 若手研究(B)
マージナルドナー肺、心臓死ドナー肺の新しい評価法と治療法の開発	陳 豊史	呼吸器外科	1,800,000	補委 若手研究(B)
ラット心停止ドナー肺の肺障害評価	山田 徹	呼吸器外科	2,200,000	補委 若手研究(B)
移植肺生存向上とドナー数拡大を目指す一酸化炭素療法の大動物肺移植モデルによる検討	佐原 寿史	呼吸器外科	2,000,000	補委 若手研究(B)
心停止ドナーからの肺移植臨床応用をめざした大動物実験	伊達 洋至	呼吸器外科	3,900,000	補委 基盤研究(B)
肺移植免疫寛容の導入を目指す前臨床研究	庄司 剛	呼吸器外科	6,000,000	補委 基盤研究(B)
強制オシレーション法を用いたドナー肺の新しい肺移植前評価法の基礎的研究	阪井 宏彰	呼吸器外科	500,000	補委 基盤研究(C)
薬剤吸入による心停止後移植肺グラフト保護に関する前臨床研究	板東 徹	呼吸器外科	1,100,000	補委 基盤研究(C)
新規ナノキャリアーを利用した癌の標的治療	佐藤 澄	呼吸器外科	1,400,000	補委 挑戦的萌芽研究
過冷却技術を用いた氷点下冷保存法のブタ肺での検討	岡本 俊宏	呼吸器外科	1,800,000	補委 挑戦的萌芽研究
フローサイトメトリー技術を用いた異常細胞検出の研究	一山 智	検査部	861,000	補委 シスメックス(株)
脳内情報処理の電気生理学的評価に関する研究	伊藤 順子	検査部	200,000	補委 基盤研究(C)
組織学的研究を対象とした'組織バンク'の構築及び病理診断の多施設間外部精度管理に関する研究(SRP)	真鍋 俊明	病理診断部	13,640,000	補委 (株)シノテスト
組織学的研究を対象とした'組織バンク'の構築及び病理診断の多施設間外部精度管理に関する研究(SRP)	真鍋 俊明	病理診断部	4,550,000	補委 (株)岡山医学検査センター
バーチャルスライドシステムを用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	真鍋 俊明	病理診断部	1,300,000	補委 がん臨床研究事業
動脈硬化性疾患の成因と予防に関する探索研究	横出 正之	探索医療センター	45,454,000	補委 大塚製薬(株)
切除不能進行肺癌(局所進行又は転移性)に対するGemcitabine療法 / TS-1療法 / Gemcitabine+TS-1併用療法の第Ⅲ相無作為化比較試験	松本 繁己	外来化学療法部	774,400	補委 大鵬薬品工業(株)
切除不能大腸癌に対する5-FU/1-LV/oxaliplatin(FOLFOLX)+bevacizumabとTS-1/oxaliplatin(SOX)+bevacizumabとのランダム化比較第Ⅲ相試験	松本 繁己	外来化学療法部	323,200	補委 大鵬薬品工業(株)
TS-1を用いた消化器癌の化学療法における有害事象および治療効果と遺伝子多型との関連に関する研究	柳原 一広	外来化学療法部	4,000,000	補委 大鵬薬品工業(株)

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌内分泌療法において薬物代謝酵素遺伝子多型が薬物血中濃度に及ぼす影響の検討	石黒洋	外来化学療法部	455,000	補委 日本化薬(株)
食道全摘手術後の食思関連ホルモンの動向:グレリン高値のパラドックスの解析	森由希子	外来化学療法部	1,600,000	補委 若手研究(B)
オキサリプラチンを用いた大腸癌化学療法の個別化治療を目指した遺伝子多型解析	金井雅史	外来化学療法部	1,700,000	補委 若手研究(B)
肝細胞癌における肝移植治療後の予後因子としての遺伝子メチル化の研究	西村貴文	外来化学療法部	1,200,000	補委 基盤研究(C)
ヒト薬物トランスポートソームの発現プロファイル構築に基づく薬物動態学的意義の解明	乾賢一	薬剤部	4,900,000	補委 特定領域研究
正常並びに病態時における小腸及び腎薬物トランスポータの転写制御機構の解明	寺田智祐	薬剤部	4,200,000	補委 若手研究(A)
薬剤性移植肝障害発現の分子機構解明	増田智先	薬剤部	6,000,000	補委 若手研究(A)
尿細管セグメントの網羅的遺伝子発現解析によるシスプラチン腎症規定因子の同定	米澤淳	薬剤部	1,400,000	補委 若手研究(B)
腎疾患時のヒト腎近位尿細管における薬物トランスポータの変動と発現制御因子	本橋秀之	薬剤部	2,100,000	補委 若手研究(B)
新規分子標的治療薬の体内動態とゲノム解析を基盤とした個別化癌薬物療法の確立	福土将秀	薬剤部	1,800,000	補委 若手研究(B)
メタボリックシンドローム患者の薬物動態変動機構の解明と薬物治療への応用	乾賢一	薬剤部	11,500,000	補委 基盤研究(A)
薬物間相互作用を利用したシスプラチン腎症の防御とがん化学療法への応用	乾賢一	薬剤部	1,600,000	補委 挑戦的萌芽研究
抗がん剤多剤同時測定法確立と情報科学の融合によるがん薬物療法の個別最適化戦略	寺田智祐	薬剤部	2,000,000	補委 挑戦的萌芽研究
メタボリックシンドローム患者の薬物動態変動機構の解明と薬物治療への応用	乾賢一	薬剤部	5,000,000	補委 繰越 基盤研究(A)
複数の免疫抑制薬併用による効果・副作用の増強と減弱に関する分子機構解明	増田智先	薬剤部	3,000,000	補委 繰越 基盤研究(A)
正常並びに病態時における小腸及び腎薬物トランスポータの転写制御機構の解明	寺田智祐	薬剤部	2,000,000	補委 繰越 基盤研究(A)
薬剤性腎障害の非侵襲性マーカーの探索と臨床的重要性の解明に関する研究	増田智先	薬剤部	57,643,000	補委 厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業(創薬バイオマーカー探索研究事業))
数理的モデルを利用した薬物トランスポータ輸送ネットワークの解明	津田真弘	薬剤部	900,000	補委 特別研究員奨励費
腎及び肝薬物トランスポータの発現制御機構の解明と個別化癌薬物療法への応用	小笠原健	薬剤部	600,000	補委 特別研究員奨励費

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又は委託元	
近位尿細管局所の遺伝子発現プロファイルに基づいた腎病変進展の分子機構解明	西原久美子	薬剤部	600,000	補 特別研究員奨励費 委	
生活習慣病における薬物トランスポータ発現変動機構の解明と薬物治療への応用	梶原望渡	薬剤部	600,000	補 特別研究員奨励費 委	
				補 委	小計 2
				補 委	計 210

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Immunol	The CD70-CD27 interaction during the stimulation with dendritic cells promotes naive CD4(+) T cells to develop into T cells producing a broad array of immunostimulatory cytokines in humans.	岡田 睦	血液・腫瘍内科
Transfusion	Impact of ABO mismatching on the outcomes of allogeneic related and unrelated blood and marrow stem cell transplantations for hematologic malignancies: IPD-based meta-analysis of cohort studies.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant	Long-term survival after HLA-haploidentical SCT from noninherited maternal antigen-mismatched family donors: impact of chronic GVHD.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Int J Hematol	Mycophenolate mofetil combined with tacrolimus and minidose methotrexate after unrelated donor bone marrow transplantation with reduced-intensity conditioning.	水本 智咲	血液・腫瘍内科
Biol Blood Marrow Transplant	Clinical significance of serum hepcidin levels on early infectious complications in allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Bone Marrow Transplant	Impact of discontinuing fluoroquinolone prophylaxis on early mortality after allogeneic marrow or peripheral blood SCT with myeloablative conditioning.	諫田 淳也	血液・腫瘍内科
Endocrinology	A postweaning reduction in circulating ghrelin temporarily alters growth hormone (GH) responsiveness to GH-releasing hormone in male mice but does not affect somatic growth.	H. Ariyasu, et al.	内分泌・代謝内科
Am. J. Hypertens.	Adipose tissue-specific regulation of angiotensinogen in obese humans and mice: Impact of nutritional status and adipocyte hypertrophy.	S. Yasue, et al.	内分泌・代謝内科
Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab.	Glucocorticoid reamplification within cells intensifies NF-kappaB and MAPK signaling and reinforces inflammation in activated preadipocytes.	T. Ishii-Yomemoto, et al.	内分泌・代謝内科
Circ. Res.	p300 plays a critical role in maintaining cardiac mitochondrial function and cell survival in postnatal hearts.	Y. Nakagawa, et al.	内分泌・代謝内科
Circulation	T-type Ca ²⁺ channel blockade prevents sudden death in mice with heart failure.	H. Kinoshita, et al.	内分泌・代謝内科
Am. J. Physiol. Endocrinol. Metab.	A mouse model of ghrelinoma exhibited activated growth hormone-insulin-like growth factor I axis and glucose intolerance.	H. Iwakura, et al.	内分泌・代謝内科
FEBS Lett.	Inhibition of hepatic damage and liver fibrosis by brain natriuretic peptide.	T. Sonoyama, et al.	内分泌・代謝内科
Arterioscler. Thromb. Vasc. Biol.	Induction and isolation of vascular cells from human induced pluripotent stem cells.	D. Taura, et al.	内分泌・代謝内科
Am. J. Physiol. Heart Circ. Physiol.	Endogenous cardiac natriuretic peptides protect the heart in a mouse model of dilated cardiomyopathy and sudden death.	S. Yasuno, et al.	内分泌・代謝内科
Circ J	Efficacy of abciximab for patients undergoing balloon angioplasty: data from Japanese evaluation of c7E3 Fab for elective and primary PCI organization in randomized trial (JEPPOINT).	Nakagawa Y	循環器内科
Circ J.	Coronary Risk Factor Profile and Prognostic Factors for Young Japanese Patients Undergoing Coronary Revascularization.	Furukawa Y	循環器内科
Circulation	Antiplatelet Therapy and Stent Thrombosis After Sirolimus-eluting Stent Implantation.	Kimura T	循環器内科

小計
18

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J.	Clopidogrel Resistance in Japanese Patients Scheduled for Percutaneous Coronary Intervention.	Hoshino K	循環器内科
Ann Thorac Surg.	Temporal Pattern of Strokes after On-Pump and Off-Pump Coronary Artery Bypass Graft Surgery.	Nishiyama K	循環器内科
Circ J	Incidence of and Risk Factors for Contrast-Induced Nephropathy After Cardiac Catheterization in Japanese Patients.	Abe M	循環器内科
Circ J.	The Impact of CYP2C19 Polymorphisms on the Antiplatelet Effect of Clopidogrel in an Actual Clinical Setting in Japan.	Jinnai T	循環器内科
Circulation	Three-Year Outcomes After Sirolimus-Eluting Stent Implantation for Unprotected Left Main Coronary Artery Disease: Insights from the J-Cypher Registry.	Kimura T	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun.	MicroRNA-133 regulates the expression of GLUT4 by targeting KLF15 and is involved in metabolic control in cardiac myocytes.	Horie T	循環器内科
J Biol Chem.	Tuberous sclerosis tumor suppressor complex-like complexes act as GTPase-activating proteins for Ral GTPases.	Shirakawa R	循環器内科
Atherosclerosis.	Progranulin expression in advanced human atherosclerotic plaque.	Kojima Y	循環器内科
Nat. Neurosci.	Axonal Maturation and Myelination in the Central and Peripheral Nervous System.	Ohno M	循環器内科
Proc Natl Acad Sci U S A	Fibulin-4 conducts proper elastogenesis via interaction with cross-linking enzyme lysyl oxidase.	Horiguchi M	循環器内科
Biochem Biophys Res Commun.	The search for Nkx2-5-regulated genes using purified embryonic stem cell-derived cardiomyocytes with Nkx2-5 gene targeting.	Nakashima Y	循環器内科
J Viral Hepat	Association of genetic polymorphism with interferon-induced hematologic adverse effects in chronic hepatitis C patients.	Wada M	消化器内科
J Gastroenterol	Narrow-band imaging of the gastrointestinal tract.	Muto M	消化器内科
Clin Exp Immunol	The effect of proteasome inhibitor MG-132 on experimental inflammatory bowel disease.	Inoue S	消化器内科
J Clin Oncol	Identification of a predictive biomarker for hematologic toxicities of Gemcitabine.	Matsubara J	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Improving visualization techniques by narrow band imaging and magnification endoscopy.	Muto M	消化器内科
Gastrointest Endosc	Complete resection of alpha-fetoprotein-producing early gastric cancer using endoscopic submucosal dissection (ESD).	Horimatsu T	消化器内科
Gastrointest Endosc	Role of double-balloon endoscopy in the diagnosis of small-bowel tumors: the first Japanese multicenter study.	Mitsui K	消化器内科
Am J Gastroenterol	An open-label prospective randomized multicenter study shows very rapid remission of ulcerative colitis by intensive granulocyte and monocyte adsorptive apheresis as compared with routine weekly treatment.	Sakuraba A	消化器内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Head Neck	prospective study of early detection of pharyngeal superficial carcinoma with the narrowband imaging laryngoscope.	Ugumori T	消化器内科
J Autoimmun	Vaccination with autoreactive CD4+Th1 clones in lupus-prone MRL/Mp-Faslpr/lpr mice.	Takao Fujii	免疫・膠原病内科
PLoS ONE	Enhanced selection of high affinity DNA-reactive B cells following cyclophosphamide treatment in mice.	Daisuke Kawabata	免疫・膠原病内科
Rheumatology	The RIG-I-like receptor IFIH1/MDA5 is a dermatomyositis-specific autoantigen recognized by anti-CADM-140 antibody.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Int J Qual Health Care	Opinions of Japanese rheumatology physicians regarding clinical practice guidelines.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Rheumatology	Clinical usefulness of anti-RNA polymerase III antibody measurement by enzyme-linked immunosorbent assay.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Intern Med.	Leukoencephalopathy with cognitive impairment following tocilizumab for the treatment of rheumatoid arthritis (RA).	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Arthritis Rheum.	Gamma/delta T cells are the predominant source of interleukin-17 in affected joints in collagen-induced arthritis, but not in rheumatoid arthritis.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Mod Rheumatol.	Lack of association between tyrosine kinase 2 (TYK2) gene polymorphisms and susceptibility to SLE in a Japanese population.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Mod Rheumatol.	erosive arthropathy requiring surgical treatments in systemic lupus erythematosus.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Auton Neurosci.	Autoimmune autonomic ganglionopathy with Sjögren's syndrome: significance of ganglionic acetylcholine receptor antibody and therapeutic approach.	Tsuneyo Mimori	免疫・膠原病内科
Emerg Med Journal	Back pain after wild mushroom consumption.	西山 慶	初期診療・救急科
Ann Thorac Surg.	Temporal pattern of strokes after on-pump and off-pump coronary artery bypass graft surgery.	西山 慶	初期診療・救急科
International Journal of Cardiology	udden cardiac death after PCI and CABG in the bare-metal stent era: Incidence, prevalence, and predictors.	西山 慶	初期診療・救急科
International Journal of Cardiology	Chronic obstructive pulmonary disease-An independent risk factor for long-term cardiac and cardiovascular mortality in patients with ischemic heart disease.	西山 慶	初期診療・救急科
Am J Respir Crit Care Med	Silencing of Fas-associated death domain protects mice from septic lung inflammation and apoptosis.	松田 直之	初期診療・救急科
Crit Care Med	Nuclear factor- κ B decoy oligodeoxynucleotides ameliorate impaired glucose tolerance and insulin resistance in mice with cecal ligation and puncture-induced sepsis.	松田 直之	初期診療・救急科
Anesthesiology	Phosphodiesterase 3 inhibition reduces platelet activation and monocyte tissue factor expression in knee arthroplasty patients.	別府 賢	初期診療・救急科
日本救急医学会雑誌	ニセクロハツ中毒の一例	太田 良紀	初期診療・救急科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain 2009; 132: 185-94.	Improved cerebral function in mesial temporal lobe epilepsy after subtemporal amygdalohippocampectomy.	Takaya S	神経内科 (RIセンター教員)
Biomed Pharmacother.	Natural killer activity of peripheral-blood mononuclear cells in breast cancer patients.	Takada M.	乳腺外科
Breast Cancer	Refractory lung metastasis from breast cancer treated with multidisciplinary therapy including an immunological approach.	Takada M.	乳腺外科
Breast Cancer	Risk reduction of distant metastasis in hormone-sensitive postmenopausal breast cancer.	Yamashiro M.	乳腺外科
Cancer	Clinical significance of the 21-gene signature (Oncotype DX) in hormone receptor-positive early stage primary breast cancer in the Japanese population.	Toi M.	乳腺外科
Breast Cancer	Refractory lung metastasis from breast cancer treated with multidisciplinary therapy including an immunological approach	Takada M.	乳腺外科
BMC Cancer	Differential survival following trastuzumab treatment based on quantitative HER2 expression and HER2 homodimers in a clinic-based cohort of patients with metastatic breast cancer.	Toi M.	乳腺外科
British Journal of Cancer	Lapatinib monotherapy in patients with relapsed, advanced, or metastatic breast cancer: efficacy, safety, and biomarker results from Japanese patients phase II studies.	Toi M.	乳腺外科
Breast Cancer	Risk reduction of distant metastasis in hormone-sensitive postmenopausal breast cancer.	Toi M.	乳腺外科
Opt. Express	Ultrahigh-resolution versus speckle noise-reduction in spectral-domain optical coherence tomography	板谷正紀	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Circulating Hematopoietic Stem Cells in Patients with Idiopathic Choroidal Neovascularization	大谷篤史	眼科
Am J Ophthalmol	ARMS2 (LOC387715) Variants in Japanese Patients with Exudative Age-related Macular Degeneration and Polypoidal Choroidal Vasculopathy	山城健児	眼科
Retina	Retinal structural changes associated with retinal arterial macroaneurysm examined with optical coherence tomography	辻川明孝	眼科
Br J Ophthalmol	Randomized Controlled Trial of Posterior Sub-Tenon's Triamcinolone as Adjunct to Panretinal Photocoagulation for Treatment of Diabetic Retinopathy	西嶋一晃	眼科
Retina	The potential of pluripotent cells in vitreoretinal diseases	大谷篤史	眼科
Retina	Lamellar macular hole formation in patients with diabetic cystoid macular edema	西嶋一晃	眼科
Ophthalmology	Acute Vogt-Koyanagi-Harada disease in enhanced spectral-domain optical coherence tomography	吉村長久	眼科
PLoS Genet	A genome-wide association analysis identified a novel susceptible locus for pathological myopia at 11q24.1	吉村長久	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Association between foveal photoreceptor status and visual acuity after resolution of diabetic macular edema by pars plana vitrectomy	坂本篤	眼科

小計
19

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Invest Ophthalmol Vis Sci	Three-dimensional profile of macular retinal thickness in normal Japanese eyes	大音壮太郎	眼科
Jpn J Ophthalmol	Restoration of outer segments of foveal photoreceptors after resolution of central serous chorioretinopathy	辻川明孝	眼科
Biochem Biophys Res Commun	Bone marrow-derived cells are differentially involved in pathological and physiological retinal angiogenesis in mice	大谷篤史	眼科
Retina	Correlation between thickening of the inner and outer retina and visual acuity in patients with epiretinal membrane	板谷正紀	眼科
Stem Cells	Activated local immunity by CC chemokine ligand 19-transduced embryonic endothelial progenitor cells suppresses metastasis of murine ovarian cancer.	小西 郁生	産婦人科
Gynecol Oncol	Ovarian cancer tumor infiltrating T-regulatory (T(reg)) cells are associated with a metastatic phenotype	馬場 長	産婦人科
Int J Cancer	Elevated MAL expression is accompanied by promoter hypomethylation and platinum resistance in epithelial ovarian cancer	馬場 長	産婦人科
Pathol Int.	Minimal deviation mucinous adenocarcinoma ('adenoma malignum') of the uterine corpus	馬場 長	産婦人科
Br J Cancer	MLH1 expression sensitises ovarian cancer cells to cell death mediated by XIAP inhibition	馬場 長	産婦人科
Cancer Immunol Immunother.	Clinical significance of the NKG2D ligands, MICA/B and ULBP2 in ovarian cancer: high expression of ULBP2 is an indicator of poor prognosis.	松村 謙臣	産婦人科
Oncogene	Anchorage-independent cell growth signature identifies tumors with metastatic potential.	松村 謙臣	産婦人科
Int J Clin Oncol.	Ovarian cancer in endometriosis: molecular biology, pathology, and clinical management.	松村 謙臣	産婦人科
Stem Cells	Activated local immunity by CC chemokine ligand 19-transduced embryonic endothelial progenitor cells suppresses metastasis of murine ovarian cancer.	松村 謙臣	産婦人科
Int J Gynecol Cancer	Transcription factor POU6F1 is important for proliferation of clear cell adenocarcinoma of the ovary and is a potential new molecular target.	松村 謙臣	産婦人科
Oncogene	Identification of an ovarian clear cell carcinoma gene signature that reflects inherent disease biology and the carcinogenic processes.	松村 謙臣	産婦人科
Int J Cancer	Targeting slow-proliferating ovarian cancer cells.	松村 謙臣	産婦人科
Stem Cells	Activated local immunity by CC chemokine ligand 19-transduced embryonic endothelial progenitor cells suppresses metastasis of murine ovarian cancer.	小西 郁生	産婦人科
J Biol Chem.	Histidine 379 of human laeverin/aminopeptidase Q, a nonconserved residue within the exopeptidase motif, defines its distinctive enzymatic properties.	藤原 浩	産婦人科
Anim Reprod Sci.	Administration of peripheral blood mononuclear cells into the uterine horn to improve pregnancy rate following bovine embryo transfer.	藤原 浩	産婦人科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Mol Hum Reprod	Do circulating blood cells contribute to maternal tissue remodeling and embryo-maternal cross-talk around the implantation period?	藤原 浩	産婦人科
J. Reprod Immunol	Is the zona pellucida an intrinsic source of signals activating maternal recognition of the developing mammalian embryo?	藤原 浩	産婦人科
Med Mol Morphol	Role of platelets in placentation	佐藤 幸保	産婦人科
J Cell Physiol	Orderly hematopoietic development of induced pluripotent stem cells via Flk-1(+) hemoangiogenic progenitors.	Niwa A	小児科
Biochem Biophys Res Commun	The effects of cardioactive drugs on cardiomyocytes derived from human-induced pluripotent stem cells.	Yokoo N	小児科
Pediatr Blood Cancer	Successful treatment of refractory donor lymphocyte infusion-induced immune-mediated pancytopenia with rituximab.	Kato I	小児科
Arthritis Rheum	Role of the NOD2 genotype in the clinical phenotype of Blau syndrome and early-onset sarcoidosis.	Okafuji I	小児科
Dermatoendocrinol. 2009 Jan;1(1):43-5.	Vitiligo vulgaris and autoimmune diseases in Japan: A report from vitiligo clinic in Kyoto University Hospital.	Tanioka M.	皮膚科
J Am Acad Dermatol. 61:888-91, 2009.	Analysis of CXCL9 and CXCR3 expression in a case of intravascular large B-cell lymphoma.	Kato M.	皮膚科
J Am Acad Dermatol. 2009 Apr;60(4):595-603.	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for pemphigus.	Amagai M.	皮膚科
J Dermatol. 2010 ;37(2):130-6.	Relationship between the distribution of pseudoxanthoma elasticum skin and mucous membrane lesions and cardiovascular involvement.	Utani A.	皮膚科
J Cosmet Dermatol. 2010 9:72-5.	Camouflage for patients with vitiligo vulgaris improved their quality of life.	Tanioka M.	皮膚科
BJU Int.	Dicoumarol enhances doxorubicin-induced cytotoxicity in p53 wild-type urothelial cancer cells through p38 activation.	Ogawa O.	泌尿器科
Biochem Biophys Res Commun.	Restoration of cyclin D2 has an inhibitory potential on the proliferation of LNCaP cells.	Ogawa O.	泌尿器科
Prostate	Antiandrogen withdrawal syndrome and alternative antiandrogen therapy associated with the W741C mutant androgen receptor in a novel prostate cancer xenograft.	Ogawa O.	泌尿器科
Int J Cancer.	Fluorescent imaging of high grade bladder cancer using a specific antagonist for chemokine receptor CXCR4.	Ogawa O.	泌尿器科
Nat Med.	Salt-sensitive hypertension in circadian clock-deficient Cry-null mice involves dysregulated adrenal Hsd3b6.	Ogawa O.	泌尿器科
Prostate.	Regulation of androgen receptor transactivity and mTOR-S6 kinase pathway by Rheb in prostate cancer cell proliferation.	Ogawa O.	泌尿器科
Cancer Res.	Identification of EP4 as a potential target for the treatment of castration-resistant prostate cancer using a novel xenograft model.	Ogawa O.	泌尿器科

小計
19

雑 誌 名	題名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Acta Otolaryngol.	Local application of hepatocyte growth factor using gelatin hydrogels attenuates noise-induced hearing loss in guinea pigs.	稲岡 孝敏	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol.	In situ tissue engineering of canine skull with guided bone regeneration.	梅田 裕生	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Comparative study of vocal outcomes with silicone versus Gore-Tex thyroplasty.	末廣 篤	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Effect of exogenous hepatocyte growth factor on vocal fold fibroblasts.	岸本 曜	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Implantation of an atelocollagen sheet for the treatment of vocal fold scarring and sulcus vocalis.	岸本 曜	耳鼻咽喉科
Ann Otol Rhinol Laryngol.	Atelocollagen sponge as a stem cell implantation scaffold for the treatment of scarred vocal folds.	大野 覚	耳鼻咽喉科
BMC Neurosci	Role of prostaglandin e receptor subtypes EP2 and EP4 in autocrine and paracrine functions of vascular endothelial growth factor in the inner ear.	堀 龍介	耳鼻咽喉科
Curr Opin Otolaryngol Head Neck Surg.	Laryngeal steroid injection.	楯谷 一郎	耳鼻咽喉科
Development.	Myosin II regulates extension, growth and patterning in the mammalian cochlear duct.	山本 典生	耳鼻咽喉科
Eur Arch Otorhinolaryngol.	Efficiency of a transtympanic approach to the round window membrane using a microendoscope.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
Exp Neurol.	Selective vulnerability of adult cochlear nucleus neurons to de-afferentation by mechanical compression.	関谷 徹治	耳鼻咽喉科
Int Adv Otol.	Lobulated petrous apex cholesterol granuloma treated with infracochlear and transsphenoidal approaches.	平海 晴一	耳鼻咽喉科
J Laryngol Otol.	Organised haematoma of the sphenoid sinus mimicking a pituitary tumour.	中川 隆之	耳鼻咽喉科
J Neurosurg	Mechanical stress-induced reactive gliosis in the auditory nerve and cochlear nucleus.	関谷 徹治	耳鼻咽喉科
J Voice.	Histologic characterization of human scarred vocal folds.	平野 滋	耳鼻咽喉科
Laryngoscope.	Hepatocyte growth factor protects auditory hair cells from aminoglycosides.	吉川 弥生	耳鼻咽喉科
Laryngoscope.	Transplantation of bone marrow-derived neurospheres into guinea pig cochlea.	扇田 秀章	耳鼻咽喉科
Laryngoscope.	Sustained delivery of lidocaine into the cochlea using PLGA microparticles.	堀江 理恵	耳鼻咽喉科
Mol Cell Neurosci.	Silencing p27 reverses post-mitotic state of supporting cells in neonatal mouse cochleae.	小野 和也	耳鼻咽喉科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Neuroreport.	Hydrogen protects auditory hair cells from free radicals.	吉川 弥生	耳鼻咽喉科
Neuroreport.	Transplantation of mouse induced pluripotent stem cells into the cochlea.	西村 幸司	耳鼻咽喉科
Neuroscience.	Prostaglandin E receptor subtype EP4 agonist protects cochleae against noise-induced trauma.	堀 龍介	耳鼻咽喉科
Audiol Jpn.	人工内耳装用児4例の構音能力 補聴器装用児1例との比較	森 尚彰	耳鼻咽喉科
Otol Jpn.	【血管条とラセン靭帯機能の新しい展開】 血管条のタイト結合	北尻真一郎	耳鼻咽喉科
血管医.	DDSの現状 内耳DDS	坂本達則	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床.	頭頸部癌と癌幹細胞説	末廣 篤	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床.	咽喉頭より発症したSweet病様症例	堀 龍介	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床.	下咽頭癌に対する放射線併用超選択的動注化学療法	大野 覚	耳鼻咽喉科
頭頸部癌.	頭頸部領域に発生した軟部肉腫症例の検討	石川征司	耳鼻咽喉科
日気管食道会報.	KTPレーザーによる外来光凝固手術を施行した喉頭乳頭腫例	平野 滋	耳鼻咽喉科
日気管食道会報.	グリーンレーザーを用いた喉頭手術 KTPレーザーの後継として	平野 滋	耳鼻咽喉科
int J Radiat Oncol Biol Phys	Measurement of interfraction variations in position and size of target volumes in stereotactic body radiotherapy for lung cancer.	Matsugi, K	放射線治療科
Med Phys	New algorithm to simulate organ movement and deformation for four-dimensional dose calculation based on a three-dimensional CT and fluoroscopy of the thorax.	Miyabe, Y	放射線治療科
int J Radiat Oncol Biol Phys	Survey of stereotactic body radiation therapy in Japan by the Japan 3-D Conformal External Beam Radiotherapy Group.	Nagata, Y	放射線治療科
int J Radiat Oncol Biol Phys	Effect of audio coaching on correlation of abdominal displacement with lung tumor motion.	Nakamura, M	放射線治療科
Med Phys	Impact on motion velocity on four-dimensional target volumes: a phantom study.	Nakamura, M	放射線治療科
Radiother Oncol	Initial validations for pursuing irradiation using a gimbals tracking system.	Takayama, K	放射線治療科
J Digit Imaging	Development and Evaluation of a Low-Cost and High-Capacity DICOM Image Data Storage System for Research.	Yakami M	放射線診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Nucl Med	Inhomogeneous bone marrow uptake caused by G-CSF mimics multiple bone metastases on FDG-PET.	Nakamoto Y	放射線診断科
Eur J Radiol	The potential clinical value of FDG-PET for recurrent renal cell carcinoma.	Nakatani K	放射線診断科
J Magn Reson Imaging	Visualization of external carotid artery and its branches: non-contrast-enhanced MR angiography using balanced steady-state free-precession sequence and a time-spatial labeling inversion pulse.	Satogami N	放射線診断科
Acad Radiol	Spin-echo T1-weighted imaging of the brain with interleaved acquisition and presaturation pulse at 3 T: a feasibility study before clinical use.	Kasahara S	放射線診断科
Jpn J Clin Oncol	Clinical value of whole-body FDG-PET for recurrent gastric cancer: a multicenter study.	Nakamoto Y	放射線診断科
Int J Cardiovasc Imaging	Facilitated acquisition of whole-heart coronary magnetic resonance angiography with visual feedback of respiration status.	Okada T	放射線診断科
Eur J Radiol	Whole-heart coronary magnetic resonance angiography with parallel imaging: comparison of acceleration in one-dimension vs. two-dimensions.	Okada T	放射線診断科
J Plast Reconstr Aesthet Surg	Free posterior interosseous artery perforator flap for finger reconstruction.	Ishiko, T	形成外科
Bioph. Res. Co.	Elastic fiber assembly is disrupted by excessive accumulation of chondroitin sulfate in the human dermal fibrotic disease, keloids.	Ikeda, M	形成外科
Clinical Microbiology and Infection	High Prevalence of Mutators in Enterobacter cloacae Nosocomial Isolates and Their Association with Antimicrobial Resistance and Repetitive Detection	松島 晶	検査部・感染制御部
Radiology	Small hepatocellular carcinoma: is radiofrequency ablation combined with transcatheter arterial chemoembolization more effective than radiofrequency ablation alone for treatment?	Shibata T	放射線部
Eur J Radiol	Non-contrast-enhanced hepatic MR angiography: Do two-dimensional parallel imaging and short tau inversion recovery methods shorten acquisition time without image quality deterioration?	Shimada K	放射線診断科
Am J Roentgenol	Unenhanced MR portography with a half-Fourier fast spin-echo sequence and time-space labeling inversion pulses: preliminary results.	Shimada K	放射線診断科
J Magn Reson Imaging	Non-contrast-enhanced MR portography with time-spatial labeling inversion pulses: comparison of imaging with three-dimensional half-fourier fast spin-echo and true steady-state free-precession sequences.	Shimada K	放射線診断科
Eur J Radiol	High spatial resolution 3D MR cholangiography with high sampling efficiency technique (SPACE): comparison of 3T vs. 1.5T.	Arizono S	放射線診断科
Atherosclerosis	Mulberry leaf ameliorates the expression profile of adipocytokines by inhibiting oxidative stress in white adipose tissue in db/db mice.	横出 正之	探索医療臨床部
J Arterioscler Thromb	C-C Chemokine receptor 2 inhibitor improves diet-induced development of insulin resistance and hepatic steatosis in mice.	横出 正之	探索医療臨床部
Annals of Oncology	A history of smoking is inversely correlated with the incidence of gemcitabine-induced neutropenia	金井 雅史	外来化学療法部
Annals of Oncology	Premedication with 20mg dexamethasone effectively prevents relapse of extensive skin rash associated with gemcitabine monotherapy	金井 雅史	外来化学療法部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Therapeutics	Economic Evaluation of Intensive Chemotherapy With Prophylactic Granulocyte Colony-Stimulating Factor for Patients With High-Risk Early Breast Cancer in Japan	石黒 洋	外来化学療法部
Gan to Kagaku Ryoho	Drug interactions in medical Oncology	石黒 洋	外来化学療法部
Cancer Chemother Pharmacol	Phase II study of S-1 and docetaxel for previously treated patients with locally advanced or metastatic non-small cell lung cancer	柳原 一広	外来化学療法部
Drug Metab Pharmacokinet	Hepatitis C virus-related cirrhosis is a major determinant of the expression levels of hepatic drug transporters	乾 賢一	薬剤部
Int J Clin Oncol	Tolerable sorafenib therapy for a renal cell carcinoma patient with hemodialysis: a case stud	乾 賢一	薬剤部
Am J Physiol Renal Physiol	Impact of Cyclin B2 and Cell division cycle 2 on tubular hyperplasia in progressive chronic renal failure rat	乾 賢一	薬剤部
Pharmacogenet Genomics	Heterozygous variants of multidrug and toxin extrusions (MATE1 and MATE2-K) have little influence on the disposition of metformin in diabetic patients	乾 賢一	薬剤部
Biopharm Drug Dispos	Effect of itraconazole on the pharmacokinetics of everolimus administered by different routes in rats	乾 賢一	薬剤部
Biochem Pharmacol	mTOR inhibitor everolimus ameliorates progressive tubular dysfunction in chronic renal failure rats	乾 賢一	薬剤部
Pharmacogenet Genomics	Impact of regulatory polymorphisms in organic anion transporter genes in the human liver	乾 賢一	薬剤部
J Pharm Sci	Population analysis of myelosuppression profiles using routine clinical data after the ICE (ifosfamide/carboplatin/etoposide) regimen for malignant gliomas	乾 賢一	薬剤部
Biochem Pharmacol	Protective effect of concomitant administration of imatinib on cisplatin-induced nephrotoxicity focusing on renal organic cation transporter OCT2	乾 賢一	薬剤部
J Clin Pharmacol	Prospective evaluation of the bayesian method for individualizing tacrolimus dose early after living-donor liver transplantatio	乾 賢一	薬剤部
Biochem Pharmacol	Transport of guanidine compounds by human organic cation transporters, hOCT1 and hOCT	乾 賢一	薬剤部
Int J Clin Oncol	UGT1A1*6 polymorphism is most predictive of severe neutropenia induced by irinotecan in Japanese cancer patients	乾 賢一	薬剤部
Mol Pharmacol	Targeted disruption of the multidrug and toxin extrusion 1 (mate1) gene in mice reduces renal secretion of metformin	乾 賢一	薬剤部
Pharm Res	MDR1 haplotypes conferring an increased expression of intestinal CYP3A4 rather than MDR1 in female living-donor liver transplant patients	乾 賢一	薬剤部
J Pharmacol Exp Ther	Involvement of human multidrug and toxin extrusion 1 in the drug interaction between cimetidine and metformin in renal epithelial cells	乾 賢一	薬剤部
Drug Metab Dispos	Impact of intestinal CYP2C19 genotypes on the interaction between tacrolimus and omeprazole, but not lansoprazole, in adult living-donor liver transplant patients	乾 賢一	薬剤部

小計
19
計
189

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 中村 孝志	
管理担当者氏名	薬剤部長 桂 敏也 医務課長 吉野 孝行 医療サービス課長 金永 博行 感染制御部長 一山 智	総務課長 吉原 正啓 医療安全管理室長 長尾 能雅 医療情報部長 吉原 博幸 医療器材部長 上本 伸二

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録		各診療科 及び 医務課	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年9月より一部の診療科を除いて入院カルテは廃止し、入院中に発生した紙媒体の診療記録等データについては外来カルテの中に入院関係分として設けた区分の所に時系列に綴じ込んだ上で、1患者1カルテとして病歴管理室で保管。 外来カルテは、1患者1カルテであり、病歴管理室で保管。 電子化されたカルテ（入院及び外来カルテ）は1患者1カルテであり、電算機室で保管。 エックス線写真は過去5年（当該年を含めて実施6年間分）を病歴管理室内のフィルムスペースにて保管。なお、CT及びMRIフィルムについては平成21年12月7日（月）撮影分以降よりフィルムレス化となり、現物保管は行っていない。
各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
エックス線写真			
処方せん			
病院日誌		総務課	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部	
号規に則掲第一條の十一の確保の各項各号及び第九條の二十三第一項第一	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び諸 管理に関する諸 記	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療器材部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 松ヶ迫 和峰
閲覧担当者氏名	総務課長 吉原 正啓
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.6 %	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	13,513人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	11,577人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,323人	
	D: 初診の患者の数	25,859人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 病院の基本理念2. 院内の責任体制及び管理体制の明確化3. 安全管理のための各種委員会の設置及びリスクマネージャーの配置並びに医療安全管理室の設置4. 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策5. 医療事故発生時における対応について6. 安全管理に係る研修の実施7. マニュアル・対応指針等の作成8. 情報の共有と開示について9. 患者からの相談等への対応	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
<p>活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故を防止する方策の検討及び実施2. 医療事故防止マニュアル等の策定・改善・普及等3. 発生した医療事故又は発生する危険のあった医療事故等に関する情報収集及び分析並びに防止のための改善策の検討・実施4. 医療事故防止のための研修・講習・教育等の実施5. 重要事例の対応決定6. その他医療事故の防止に関する全般事項	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 27 回
<p>研修の主な内容：</p>	
<p>【全職種対象】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○平成21年4月16日「院内蘇生について～あなたは安心して院内で倒れますか?～」 講師：本院初期診療救急科 山畑佳篤助教 参加人数：604名 ○平成21年5月27日「輸血ポンプ・シリンジポンプのリスクマネジメント」 講師：テルモ株式会社 西田雄氏 参加人数：437名 ○平成21年6月19日「安全な手術のために一誰もができること」 講師：佐賀大学医学部附属病院 小泉俊三教授 参加人数：297名 ○平成21年7月14日①「抗がん剤注射薬オーダーリングから払い出しに至るまでの流れと注意点について」②「薬剤オーダーのチェックシステムとその注意点について」 講師：本院薬剤部 寺田智祐副薬剤部長、深津祥央薬品情報掛長 参加人数：349名 ○平成21年9月16日「医療安全における5S活動の意義と進め方」 講師：株式会社ベーシックマネジメント研究所 高原昭男氏 参加人数：435名 ○平成21年10月2日「CVC合併症はもっと減らすことができる—東北大学病院の取り組み—」 講師：東北大学医学研究科 宮田剛講師 参加人数：327名 ○平成21年12月15日①「院内のモニター事情」②「モニタのアラームとその活用方法」 講師：本院医療器材部 久保大安臨床工学技士、日本光電工業株式会社 谷島正巳氏 参加人数：293名 ○平成22年2月18日「全職員で取り組む医療安全」 講師：九州大学大学院医学研究院 鮎澤純子准教授 参加人数：256名 ○平成22年3月8日「不眠で困っている患者のケアと治療—転倒防止のための注意点」 講師：大阪回生病院睡眠医療センター 谷口充孝部長 参加人数：245名 ○医療安全に関するビデオ上映会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月17日「医療安全への終わりなき挑戦～キーワードは全員参加」(平成20年8月29日開催分) 講師：武蔵野赤十字病院 矢野真医療安全推進室長 参加人数：121名 ・平成21年11月17日「感染対策—基本中の基本とピットファールー」(平成20年12月2日開催分) 講師：京都府立医科大学附属病院 藤田直久臨床検査部長 参加人数：154名 ・平成21年11月17日「院内蘇生について～あなたは安心して院内で倒れますか?」(平成21年4月16日開催分) 参加人数：194名 ・平成22年1月18日「院内蘇生について～あなたは安心して院内で倒れますか?」(平成21年4月16日開催分) 参加人数：44名 ・平成22年1月18日「“そら”の知を医療へ—考える機長を育てる—」(平成20年5月14日開催分) 講師：日本航空機操縦士協会 根本裕一常務理事 参加人数：39名 ・平成22年1月18日「CVC合併症はもっと減らすことができる—東北大学病院の取り組み—」(平成21年10月2日開催分) 参加人数：22名 ・平成22年1月18日「院内蘇生について～あなたは安心して院内で倒れますか?」(平成21年4月16日開催分) 参加人数：50名 	
<p>【医師対象】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○研修医オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月1日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：146名 ○新規採用医師安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年6月2日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：10名 ・平成21年6月4日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：23名 ・平成21年6月15日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：27名 ○中途採用医師安全研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年11月4日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：9名 ・平成21年11月5日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：8名 ・平成21年11月9日 講師：長尾医療安全管理室長 参加人数：17名 	
<p>【看護師対象】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ○看護部新規採用者オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年4月6日 講師：足立看護師長 (GRM) 参加人数：106名 ○中途採用者研修 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年5月1日 講師：足立看護師長 (GRM) 参加人数：4名 ・平成21年6月1日 講師：足立看護師長 (GRM) 参加人数：2名 ・平成21年7月1日 講師：足立看護師長 (GRM) 参加人数：3名 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業 2. 安全に関する部門連携・委員会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理委員会の定期開催 ・ リスクマネージャー会議の定期開催 ・ 薬剤関連インシデント検討会の定期開催 ・ 各診療科RMとのインシデント検討会の定期開催 ・ 院内転倒転落事故防止委員会の定期開催 3. 職員への安全教育 <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会・講習会・ビデオ上映・院内事例報告会 ・ インシデントニュースの配信 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (5 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(2)名、兼任(4)名 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療事故発生時の初動対応と事例調査 2. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業 3. 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス・分析・対策立案 4. 医療安全に関する部門連携・委員会活動 5. 職員、学生などへの医療安全教育 6. 医療安全における大学間・病院間・地域間連携 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	(有) ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 関連委員会及び会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 																																																																			
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 11 回																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染の防止及び予防に関すること ・ 感染症予防のための研修・講習・教育等に関すること ・ 感染症予防対策の指針の策定及び変更に関すること ・ その他感染症予防対策に関すること 																																																																			
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 32 回																																																																		
<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left; width: 15%;">研修の主な内容：</th> <th style="text-align: right; width: 85%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月2日 新規採用医師に必要な感染対策の基本的知識・技術について</td><td style="text-align: right;">67人</td></tr> <tr><td>4月6日 新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術について</td><td style="text-align: right;">106人</td></tr> <tr><td>4月17日 初めての感染症</td><td style="text-align: right;">16人</td></tr> <tr><td>4月23日 感染性胃腸炎の対応</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>5月15日 尿路感染症</td><td style="text-align: right;">16人</td></tr> <tr><td>5月29日 菌血症</td><td style="text-align: right;">8人</td></tr> <tr><td>6月5日 敗血症の初期診療</td><td style="text-align: right;">10人</td></tr> <tr><td>6月8日 インフルエンザから身を守ろう（インフルエンザに関する知識の周知と感染対策について）</td><td style="text-align: right;">15人</td></tr> <tr><td>6月19日 院内肺炎①</td><td style="text-align: right;">8人</td></tr> <tr><td>7月3日 院内肺炎②</td><td style="text-align: right;">7人</td></tr> <tr><td>7月16日 血液腫瘍内科におけるメタロβラクタマーゼ産生多剤耐性緑膿菌に対する感染対策のまとめ</td><td style="text-align: right;">40人</td></tr> <tr><td>7月17日 セフェム系抗菌薬</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>8月7日 カテーテル関連血流感染症</td><td style="text-align: right;">2人</td></tr> <tr><td>9月4日 抗MRSA薬の使い方</td><td style="text-align: right;">4人</td></tr> <tr><td>9月7日 耐性菌対策について</td><td style="text-align: right;">30人</td></tr> <tr><td>9月10日 感染対策の基本、新型インフルエンザについて</td><td style="text-align: right;">19人</td></tr> <tr><td>9月10日 MRSA最近の話題</td><td style="text-align: right;">31人</td></tr> <tr><td>9月18日 CD関連腸炎の診断と治療</td><td style="text-align: right;">2人</td></tr> <tr><td>9月25日 院内感染をおこす微生物の特徴と対策 E S B L大腸菌</td><td style="text-align: right;">20人</td></tr> <tr><td>10月1日 京大病院における感染管理について</td><td style="text-align: right;">21人</td></tr> <tr><td>10月9日 清掃業務における感染防止</td><td style="text-align: right;">49人</td></tr> <tr><td>10月16日 Febrile Neutropenia</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>10月27日 新型インフルエンザ対策について</td><td style="text-align: right;">139人</td></tr> <tr><td>11月9日 感染管理</td><td style="text-align: right;">1人</td></tr> <tr><td>11月6日 血倍でグラム陽性球菌が検出されたら</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>11月11日 輸液管理における感染管理を理解する</td><td style="text-align: right;">43人</td></tr> <tr><td>11月20日 CAMRSAについて</td><td style="text-align: right;">90人</td></tr> <tr><td>12月4日 医療施設における感染管理</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>12月14日 感染管理の基本</td><td style="text-align: right;">15人</td></tr> <tr><td>12月17日 感染管理の基本</td><td style="text-align: right;">15人</td></tr> <tr><td>1月6日 感染制御と医療安全</td><td style="text-align: right;">52人</td></tr> <tr><td>2月16日 感染対策のまとめ</td><td style="text-align: right;">53人</td></tr> </tbody> </table>		研修の主な内容：	参加者数	4月2日 新規採用医師に必要な感染対策の基本的知識・技術について	67人	4月6日 新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術について	106人	4月17日 初めての感染症	16人	4月23日 感染性胃腸炎の対応	3人	5月15日 尿路感染症	16人	5月29日 菌血症	8人	6月5日 敗血症の初期診療	10人	6月8日 インフルエンザから身を守ろう（インフルエンザに関する知識の周知と感染対策について）	15人	6月19日 院内肺炎①	8人	7月3日 院内肺炎②	7人	7月16日 血液腫瘍内科におけるメタロβラクタマーゼ産生多剤耐性緑膿菌に対する感染対策のまとめ	40人	7月17日 セフェム系抗菌薬	5人	8月7日 カテーテル関連血流感染症	2人	9月4日 抗MRSA薬の使い方	4人	9月7日 耐性菌対策について	30人	9月10日 感染対策の基本、新型インフルエンザについて	19人	9月10日 MRSA最近の話題	31人	9月18日 CD関連腸炎の診断と治療	2人	9月25日 院内感染をおこす微生物の特徴と対策 E S B L大腸菌	20人	10月1日 京大病院における感染管理について	21人	10月9日 清掃業務における感染防止	49人	10月16日 Febrile Neutropenia	5人	10月27日 新型インフルエンザ対策について	139人	11月9日 感染管理	1人	11月6日 血倍でグラム陽性球菌が検出されたら	3人	11月11日 輸液管理における感染管理を理解する	43人	11月20日 CAMRSAについて	90人	12月4日 医療施設における感染管理	5人	12月14日 感染管理の基本	15人	12月17日 感染管理の基本	15人	1月6日 感染制御と医療安全	52人	2月16日 感染対策のまとめ	53人
研修の主な内容：	参加者数																																																																		
4月2日 新規採用医師に必要な感染対策の基本的知識・技術について	67人																																																																		
4月6日 新規採用者に必要な感染対策の基本的知識・技術について	106人																																																																		
4月17日 初めての感染症	16人																																																																		
4月23日 感染性胃腸炎の対応	3人																																																																		
5月15日 尿路感染症	16人																																																																		
5月29日 菌血症	8人																																																																		
6月5日 敗血症の初期診療	10人																																																																		
6月8日 インフルエンザから身を守ろう（インフルエンザに関する知識の周知と感染対策について）	15人																																																																		
6月19日 院内肺炎①	8人																																																																		
7月3日 院内肺炎②	7人																																																																		
7月16日 血液腫瘍内科におけるメタロβラクタマーゼ産生多剤耐性緑膿菌に対する感染対策のまとめ	40人																																																																		
7月17日 セフェム系抗菌薬	5人																																																																		
8月7日 カテーテル関連血流感染症	2人																																																																		
9月4日 抗MRSA薬の使い方	4人																																																																		
9月7日 耐性菌対策について	30人																																																																		
9月10日 感染対策の基本、新型インフルエンザについて	19人																																																																		
9月10日 MRSA最近の話題	31人																																																																		
9月18日 CD関連腸炎の診断と治療	2人																																																																		
9月25日 院内感染をおこす微生物の特徴と対策 E S B L大腸菌	20人																																																																		
10月1日 京大病院における感染管理について	21人																																																																		
10月9日 清掃業務における感染防止	49人																																																																		
10月16日 Febrile Neutropenia	5人																																																																		
10月27日 新型インフルエンザ対策について	139人																																																																		
11月9日 感染管理	1人																																																																		
11月6日 血倍でグラム陽性球菌が検出されたら	3人																																																																		
11月11日 輸液管理における感染管理を理解する	43人																																																																		
11月20日 CAMRSAについて	90人																																																																		
12月4日 医療施設における感染管理	5人																																																																		
12月14日 感染管理の基本	15人																																																																		
12月17日 感染管理の基本	15人																																																																		
1月6日 感染制御と医療安全	52人																																																																		
2月16日 感染対策のまとめ	53人																																																																		

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染対策サーベイランスの実施およびそれに基づいた感染対策の見直し
 - ・ 耐性菌サーベイランス (MRSA、耐性緑膿菌、ESBL、VRE、他)
 - ・ カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・ 人工呼吸器関連肺炎サーベイランス
 - ・ 感染性胃腸炎サーベイランス
 - ・ 手術部位感染サーベイランス
 - ・ 上気道・発熱サーベイランス

 2. 職業感染防止と暴露後対応
 - ・ 針刺しの原因分析と防止対策
 - ・ ワクチン接種と抗体の確認 (麻疹、水痘、B型肝炎ワクチン、インフルエンザ)
 - ・ 暴露後の対応 (血液体液曝露対策 (B型肝炎、C型肝炎、HIV)、結核、麻疹、水痘、インフルエンザ)

 3. 感染対策マニュアルの見直しおよび改訂作業

 4. 職員啓発活動
 - ・ 各種講習会、研修会の開催
 - ・ ICTニュースの配布

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無																										
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回																										
<p>研修の主な内容：</p> <p>医薬品での事故防止に係る本院職員の意識改革と安全管理、及び薬剤師としての資質向上のため次の通り研修会等を開催した。</p> <p>○全職種を対象（医薬品の安全使用のための研修会）</p> <p>日 時：平成21年7月14日（火）17：20～</p> <p>1. 『抗がん剤注射薬オーダーリングから払い出しに至るまでの流れと注意点について』 講演者：薬剤部 寺田智祐 副薬剤部長</p> <p>2. 『薬剤オーダーのチェックシステムとその注意点について』 講演者：薬剤部 深津祥央 薬品情報掛長</p> <p>参加数：317（医師、薬剤師、看護師、事務、その他）</p> <p>○薬剤師を対象（医薬品の安全使用のための説明会）</p> <p>新規採用医薬品の説明会を毎月開催し、新規採用医薬品の説明および添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取り扱い等についての説明及び情報共有を図っている。</p> <table border="1" data-bbox="236 875 730 1305"> <thead> <tr> <th>開催年月日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成21年4月2日（木）</td><td>48名</td></tr> <tr><td>平成21年5月7日（木）</td><td>55名</td></tr> <tr><td>平成21年6月3日（水）</td><td>51名</td></tr> <tr><td>平成21年7月2日（木）</td><td>55名</td></tr> <tr><td>平成21年8月4日（火）</td><td>52名</td></tr> <tr><td>平成21年9月1日（火）</td><td>47名</td></tr> <tr><td>平成21年10月1日（木）</td><td>45名</td></tr> <tr><td>平成21年11月4日（水）</td><td>52名</td></tr> <tr><td>平成21年12月3日（木）</td><td>49名</td></tr> <tr><td>平成22年1月6日（水）</td><td>53名</td></tr> <tr><td>平成22年2月4日（木）</td><td>44名</td></tr> <tr><td>平成22年3月2日（火）</td><td>52名</td></tr> </tbody> </table>		開催年月日	参加人数	平成21年4月2日（木）	48名	平成21年5月7日（木）	55名	平成21年6月3日（水）	51名	平成21年7月2日（木）	55名	平成21年8月4日（火）	52名	平成21年9月1日（火）	47名	平成21年10月1日（木）	45名	平成21年11月4日（水）	52名	平成21年12月3日（木）	49名	平成22年1月6日（水）	53名	平成22年2月4日（木）	44名	平成22年3月2日（火）	52名
開催年月日	参加人数																										
平成21年4月2日（木）	48名																										
平成21年5月7日（木）	55名																										
平成21年6月3日（水）	51名																										
平成21年7月2日（木）	55名																										
平成21年8月4日（火）	52名																										
平成21年9月1日（火）	47名																										
平成21年10月1日（木）	45名																										
平成21年11月4日（水）	52名																										
平成21年12月3日（木）	49名																										
平成22年1月6日（水）	53名																										
平成22年2月4日（木）	44名																										
平成22年3月2日（火）	52名																										
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																											
<p>手順書の作成 (有 ・ 無)</p> <p>業務の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医薬品の採用 2. 医薬品の購入 3. 薬剤部における医薬品の管理 4. 病棟・各部門への医薬品の供給 5. 外来患者への医薬品使用 6. 病棟における医薬品の管理 7. 入院患者への医薬品使用 8. 医薬品の適正使用 9. 医薬品の安全使用に係る情報 10. 他施設（医療機関・薬局等）との連携 <p>以上の業務内容について、平成22年1月7日（木）に手順書に基づく業務の実施状況を調査した。</p> <p>各病棟における調査者は病棟担当者とし、薬剤部内の調査者は各担当掛長とした。調査結果および改善が必要な点については指導等の実施状況について書面で報告してもらい、記録として保存した。</p>																											

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - (1) 院内に新規採用された医薬品について、採用されてから6ヶ月後および1年後に医師に「新規採用医薬品副作用予備調査票」を送付・回収し、院内で発生した副作用情報を収集している。
 - (2) 入院患者への薬剤管理指導を通して医薬品の安全使用のために必要な情報を収集している。そこで収集・解析した情報を、本院のチーム医療検討委員会による支援のもと、毎月薬剤管理指導検討会を公開し、院内各職種間を超えた情報の共有によって、医薬品安全使用の改善を図っている。
 - (3) 医療安全管理室担当として副薬剤部長1名が兼任し、毎週開催される安全管理ミーティングにて院内の情報を収集すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内で毎月1回検討会を実施、業務改善の方策を立てると共に、情報を共有することで医薬品安全使用の質的改善を推進している。
 - (4) 京都府下の保険調剤薬局対象で原則年2回、京大病院薬剤部が医薬分業研修会を開催し、がん化学療法等について研鑽を積むとともに相互に問題となる情報を交換し、入院治療から外来治療に至るまで一貫した医薬品安全使用の向上を図っている。
 - ・ 平成21年9月13日(日) 午後1時～午後4時 116名出席
 - 場所 臨床第1講堂
 - (5) 処方・注射オーダーリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能を修正追加し、医療事故を未然に防止すると共に、必要となるデータベースを構築し、維持・管理している。
 - (6) 病院内において、アラートメールを通じた医薬品等安全性情報、緊急安全性情報等の配布、緊急通告や医薬品の採用・削除などの医薬品情報を配信している。
 - (7) 医師との連携により、外来の院外処方せん交付患者に対しても、初回投与時の抗がん剤(タルセバ、ネクサバル、タイケルブ)の服薬指導を開始し、副作用等の説明及びその対処を指導する事で医薬品安全使用を推進することが可能となった。
 - (8) 本院のチーム医療検討委員会による支援のもと、薬剤関連業務とチーム医療についてカンファレンスを行い、院内各職種間を超えた情報の共有によって、医薬品安全使用の改善を図っている。
 - ・ 平成21年11月10日(火) 午後5時半～7時 94名出席
 - 場所 臨床第1講堂

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 37 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年4月に新人看護師及び研修医を対象とした輸液・シリンジポンプの使用 方法について研修を実施 ・ 平成21年度中に計30回、医師・看護師・臨床工学技師を対象として人工呼吸器・ 人工透析装置・人工心肺装置等の使用方法、安全対策についての研修を実施 ・ 平成21年4月・7月・9月・平成22年2月に診療放射線発生装置等に対する医療機器 安全使用のための研修を実施 ・ 平成21年6月・平成22年2月に診療用高エネルギー放射線発生装置に対する医療 機器安全使用のための研修を実施 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各機器の点検周期に添って臨床工学技師による点検とメーカーによる点検を実施している。 →臨床工学技師の点検では、バッテリー・各種センサー・各種フィルター等の定期交換を実施している。 →メーカーによる修理の講習を受けた機器については簡易修理を行っている。 →高度な技術を要する修理はメーカーに依頼している。 ・ 放射線機器については点検実施計画を作成し、各分担当者を決め定期的に点検 を実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を 目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器に関する安全性情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知す る体制をとっている。</p> <p>医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の統一を推し進めている。</p> <p>医療機器関連のインシデント・アクシデン報告の周知と改善策の検討を行っている</p> <p>メーカーの安全情報や学会等のガイドラインに添ったマニュアルの整備をしている。</p> <p>医療機器の添付文書・現場確認と電子化 (PMDAより)</p> <p>厚生労働省からの安全管理通知に則った点検・運用の遵守</p>	